

「使用前、周囲よく見て ラベル見て」～令和8年度 農薬危害防止運動～

農薬ラベルに記載されている安全使用上の注意または被害防止方法を確認しましょう

登録番号	農薬名	用途	対象作物	防除対象	防除回数	防除時期	防除回数	防除時期	防除回数	防除時期	防除回数	防除時期
00000	00000	00000	00000	00000	00000	00000	00000	00000	00000	00000	00000	00000

農薬散布時は、薬剤の直接付着や吸い込みを防ぐため、適切な防護装備を着用することが重要です。

その装備、準備バッチリ？

- ✓保護メガネ
- ✓農薬用マスク
- ✓不浸透性防除衣
- ✓不浸透性手袋
- ✓長靴

OK?

使用後は直ちに着替え、衣服を洗濯し、手洗い・うがい・入浴を徹底してください。

https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_bakusei/ 農薬の適正使用 農林水産省 編集

令和8年度農薬危害防止運動 農林水産省・厚生労働省・環境省・都道府県共催

農林水産省は、農薬を使用する機会が増える6月から8月にかけて、厚生労働省、環境省等と共同で、農薬の使用に伴う事故・被害を防止するため、農薬の安全かつ適正な使用や保管管理、環境への影響に配慮した農薬の使用等を推進する「農薬危害防止運動」を実施します。

実施期間：令和8年6月1日～8月31日

農薬危害防止運動の目的

農林水産省は、農薬取締法、毒物及び劇物取締法等に基づいた、農薬の適正な取り扱いについて関係者を指導しています。

農薬の使用に伴う人や家畜への危害を防止するためには、農薬を使用する機会が増える6月から8月に指導を強化するのが効果的です。「農薬危害防止運動」は、その一環として実施するものです。

<令和8年度農薬危害防止運動詳細>

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/nouyaku/260428.html>

みどり戦略学生チャレンジ
募集中!

○「みどりの食料システム戦略」に関わる活動を実践する機会として「みどり戦略学生チャレンジ」を実施しています。

○参加登録期間は4月15日(水)から7月31日(金)まで。皆様のご応募をお待ちしています。

<応募フォーム>

https://www.contactus.maff.go.jp/j/form/kanbo/kankyo/260415_1.html

<みどり戦略学生チャレンジ詳細>

https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/b_kankyo/260415.html

<令和7年度関東ブロック大会・準グランプリ(大学・専門学校の部)>

https://www.maff.go.jp/kanto/keiei/keiei/shuunou/attach/pdf/R7_challenge-14.pdf



令和7年度のチャレンジ例

埼玉県久喜市で国産コーヒーを栽培する「エコファーム」の東 英雄さんを紹介します！

久喜市在住の東 英雄さんは、さいたま市岩槻区でリサイクル会社「エコドラム」を経営する傍ら、同社の新規事業として2025年7月、久喜市にコーヒー農園「エコファーム」を立ち上げ、異業種から農業へ参入した。

義父が経営していたイチゴ農園を手伝う中で、農業に関わりを持ち、義父の死去後、引き継いだ農地の活用方法を探していた。また、周辺地域では農業者の平均年齢が上がり、耕作放棄地が増加するなど、様々な農業を取り巻く現状を目の当たりにし、自身がどうにかできないかと考えていた。

そうした中で、2022年に岡山県の会社が行っていた「国産コーヒープロジェクト」と出会い、埼玉県で誰も始めていなかったコーヒー栽培への挑戦が始まった。

当初、ハウスの設備費用は4,000万円超と試算していたが、静岡県柿農家が使用していた中古ハウスを購入し、エコドラムの社員と共に組み立て、中古の暖房機2台及び重油タンクを購入するとともに、防油堤も消防署に作り方を教わりながら自らが設置した。その結果として、設備費用を約800万円まで抑える事に成功した。

ホームページやSNSでの情報発信はしていないが、口コミにより様々なメディアで報じられ、これまで県内外の商社やIT企業など多くの企業等が視察に訪れた。この内、6社が栽培に向けて準備を進めており、埼玉県内のIT企業では社内コンペを通して、コーヒー栽培を始める企業もある。また、個人的に東さんへ連絡を取り、従業員として働きたいとの声も多いことから、農園の規模が拡大することになれば、正社員として雇うことも考えている。

今後の目標について、将来的には「エコファーム」で収穫したコーヒー豆を使用した、コーヒーショップを久喜市内で経営することを検討している。また、ドバイへの輸出も目指しており、現地に住む方々に希少な日本産コーヒーを飲んでもらいたい。

「エコファーム」では『未来の新しい農業に挑戦しています、埼玉県で初めてコーヒー農園を始めました。日本農業への一つのきっかけと夢を応援します。』とのスローガンを掲げ農業に取り組んでいる。東さんは、「このようなスローガンを掲げる会社が増えれば、耕作放棄地が無くなるのではないか。また、まずは久喜市を変えたい、久喜市が変われば埼玉県が変わるかもしれない、埼玉県が変われば国が変わるかもしれない。」と力強く語っていた。



東 英雄さん



エコファームの看板・2日間のみ開花するコーヒーの花

編集：関東農政局 埼玉県拠点

〒330-9722 さいたま市中央区新都心 2-1 さいたま新都心合同庁舎 2号館

TEL 048-740-5835

〈関東農政局HP〉 <https://www.maff.go.jp/kanto/>